

# えぐね

※えぐねは、日本三大散居村の地、胆沢扇状地の屋敷の北西側に杉・栗・桐などの木を森のように植えて、冬の季節風から屋敷を守る防風林である。杉は建築材に、落葉は燃料や肥料などにも使われた。冬は温かく、夏は涼しく、緑豊かで快適な住環境を形づくるとともに、日本の原風景を代表する豊潤な景観を生み出している。

## 胆沢プライド、確かに継承される

2月12日(金)、胆沢プライド三行事の最後を飾る継承会が行われました。「大きな声が出せない、密接・密集した動きが取れない」状況下であって、各組とも創意と情熱にあふれたパフォーマンスを披露しました。体育祭でのパフォーマンスと同様に、2年生のリーダーシップのもと、限られた時間の中で真剣に取り組む見事な形に仕上げることができました。この1年間、アフターコロナのあるべき姿を模索し、少しずつ形にしてきた生徒たちの頑張りに改めて感謝の気持ちでいっぱいになりました。



※わずか2日間の練習で臨んだ焼石太鼓でしたが、迫力満点の演奏でした。

※黒板アートは、胆沢中の新たな伝統として着実に根を下ろしつつあるようです。今後のさらなる発展を期待します。



※今年もたくさんの「ありがとう」がありました。元気をもらえる、正に魔法の言葉です。

## 継続こそ正に力の源ない!

2月9日(火)、朝自習の時間に今年最後で10回目の視写が行われました。教室を回ってみると、ある変化に気が付きました。なぜか読書や勉強をしている人が少なからずいたのです。何人かに聞いてみると、「もう写し終えたから」だということです。なるほど、10回目ともなると書き写すスピードも増してくるのでしょう。しかもただ速いだけでなく、正確に、しかもきれいに視写できるスキルが身につくようです。

正に「継続こそ力の源なり」を実感した次第です。3月2日に予定されているスクラップ交流会も楽しみです。



## マスク、除菌消臭剤の寄贈をいただきました

アイ・ベスト株式会社様よりマスク、岩手銀行水沢支店様より除菌・消臭剤の寄贈がありました。この時期、本当にありがたいことです。この善意に感謝しつつ、さらに大変な思いでコロナ対策に当たっている医療関係者をはじめとするたくさんの方々への感謝の気持ちも忘れないように、これからも感染対策に努めながら生活していきましょう。

先日、ある介護施設でクラスターが発生し、その施設への心無いクレームの電話が殺到しているという新聞記事を目にしました。「対策は万全を期してきたのに大変申し訳ない。」という職員の方のコメントを読んで、とても切ない気持ちになりました。

非常事態宣言の延長に伴い、コロナ感染者は減少傾向にあるとはいえ、いつだれが感染しても不思議ではない状況にあらうかと思えます。そんな時だからこそ思いやりの気持ちを忘れず、己を律して規則正しく生活することを心がけていきたいものですね。



## 卒業式を胆沢総体で行います

学校の体育館で一定のソーシャルディスタンスを確保するとなると、やはり例年通りの実施はできません。ここ1年間、在校生不在での卒業式、入学式にせざるを得ませんでした。胆沢総合体育館であれば、在校生をいれてもソーシャルディスタンスをしっかりと確保することが可能です。また、合唱の実施については是非が分かれるところかと思いますが、3密排除を徹底した上で最低限の練習を行い、また公立高校受験の2週間前までには練習を終えることで感染リスクの軽減を図ることは可能と判断しました。感染状況によっては、実施できない場合も出てくるのが予想されますが、今できる精一杯のことに取り組みながら、少しでも良い形で3年生の門出を祝ってあげたいと思っています。ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。



※3年生も、卒業式に向けて着々と準備を進めています。ハーバリウム作りにも、皆真剣に取り組んでいました。

## 冬来たりなば春遠からじ

### 第4回ウィンターカップ中学生室内ソフトテニス大会

女子 1位 男子 2位

### 金ヶ崎協会長杯中学校インドアソフトテニス大会

男子 1位 女子 1位

### 江刺ライオンズ旗中学生バレーボール大会

男子 3位

バレーボールもソフトテニスも、女子に続けとばかりに男子も着実に力を蓄えてきているようです。また、盛岡市内一周継走の開催も正式に決定しました。大雪の中、頑張っ外周を走っている人もたくさんいますので、2年ぶりの力走が見られると思うだけで今からワクワクしています。

## 奥州市明るい選挙啓発ポスターコンクール

入選 2年 佐々木ころ

2年 小野寺美友



## 県書写書道コンクール

準特選 1年 小野寺倅



## ライオンズ国際平和ポスターコンテスト

ガバナー特別賞 1年 高橋優



優秀賞 1年 小野寺礼人

2年 齋藤未央

入選、おめでとうございます。

## 一月往ぬる二月逃げる三月去る

「いちげついぬるにげつにげるさんげつさる」と読みます。正月から三月までは行事が多く、あっという間に過ぎてしまうことを調子よくいった言葉です。とはいえ目前の物事や行事だけでなく、学校は来年度の活動の準備にもすでに取りかかっています。一例をあげると、9月に実施予定の修学旅行です。現時点で市教育委員会からは、宮城・山形以北の北東北での実施を求められおり、当初の東京方面での計画と合わせて、細かいところを詰める作業が進められています。どちらの案でも実施できるよう、またギリギリのところキャンセルできるよう、社会情勢を鑑みながら少しでもより良い修学旅行になることを願い、2学年の先生方は準備を進めています。

学校現場の働き方改革が巷で話題となり、また多くのご理解をいただいていることについては、本当にありがたく思っております。しかしながら改めて振り返ってみると、コロナ禍により行事の一からの見直しを余儀なくされたり、感染対策の徹底等で業務内容が増えたりするなど、正直思い悩むことが多かった1年でした。ここで得た経験を活かしていくことで、今後のより良い学校教育の在り方を模索していくことが今私たちに求められていると強く感じているところです。残す3週間、私たち教職員もチーム胆沢で頑張っていきたいと思ひます。